柊会計システム開発 - バグ #3

podman podの移動方法を調査する

2026/11/14 08:40 - 鷹見 秀治

ステータス:	終了	**開始日:**	2026/11/14
優先度:	通常	**期日:**	2026/11/30
担当者:	鷹見 秀治	**進捗率:**	0%
カテゴリ:		**予定工数:**	0:00時間
対象バージョン:		**作業時間:**	0:00時間

説明

履歴

#1 - 2026/11/14 08:45 - 鷹見 秀治

- ステータス を 新規 から 進行中 に変更

#2 - 2026/11/14 08:48 - 鷹見 秀治

AI による概要

PodmanのPodを別のホストへ移動するには、Kubernetesマニフェスト（YAML）を活用した podman generate kube および podman play kube 命令を使用するのが最も標準的で確実な方法です。

移行の手順

1. 移動元（現在動いているホスト）でPodのYAMLをエクスポートする

Podの構成内容を定義したYAMLファイルを出力します。

podman generate kube -f <ファイル名>.yaml <ポッド名>

• ※Pod内で永続化ボリューム（Volume）やデータベース等を使用している場合は、ボリュームデータ（/var/lib/containers/storage/volumes/... やバインドマウントしたディレクトリ）も別途バックアップ・同期しておく必要があります。

1. ファイルを移行先に転送する

生成したYAMLファイル（および必要なボリュームデータやイメージ）をscp等で移動先のホストに転送します。

1. 移行先（新しいホスト）でPodを復元する

移行先でYAMLファイルを読み込み、Podとコンテナを再現します。

podman play kube <ファイル名>.yaml

※podman play
kubeを実行すると、YAMLに記述されたイメージがレジストリから自動的にプルされ、Podが再作成されます。コンテナイメージをプライベートレジストリ等から引っ張れない環境の場合は、事前にイメージを podman save / podman load で転送しておく必要があります。

#3 - 2026/11/14 08:52 - 鷹見 秀治

- ステータス を 進行中 から 終了 に変更